

東日本大震災に関する緊急実態調査 (概要)

2011年3月31日
全国商工団体連合会

東北地方太平洋沖地震の発生以降、各地で「建築資材が手に入らない」「飲食店にお客が来ない」などの声が出されました。県連・民商で緊急にヒアリング等を行い、実態掌握をしています。

以下、3月25日現在、寄せられている実態です。

各地のヒアリングで出されている状況の概要

建設資材、原材料等の入手困難。繁華街にも人が出ずに飲食店も売上激減という事態になっています。また、日を追うに連れ、原発事故による被害も計画停電、農水産物・加工品への風評被害へと拡大されています。

建設関連…広範な工事業者から資材の入手困難な状況がだされています。公共事業の中止により、仕事をとまる状況など。

建設…福島原発の耐震工事の計画が中止に、新潟駅の橋上化の工事も後回しになり、予定していた仕事がなくなった。五泉では軽油がほとんどない。(新津)

外壁・板金：震災でセラディール材工場が被害を受け全滅。セラディール材・電気が来ないために生産ラインがストップしている状態。塩化ビニール関係(雨樋関係)が入荷困難(金沢白山)。

サッシ…YKKエピソード・プラマード・エイピアは生産不可能。フレミングは可能。エクステリア・ガラス・共通部材は生産可・不可・色々な確認は必要・トステム・6カ所の工場が被害。状況が掴めない(金沢白山)。

木製建具…注文金具(ハンドル等)輸送の関係で入荷が遅れます。特殊ベニア類は震災前から在庫が無くなった時点で値段が倍になると連絡があった(金沢白山)。

内装材…コンパネ(工場出荷はなし。国が出荷を止めたと聞いている。全国出荷量30%を占めていた石巻の工場が全滅)、ボード類は出荷OK、フロアはメーカーによる、断熱材(3つの工場が被害を受け、出荷は絶望的)(金沢白山)。ハウスメーカー(2社)の工場が被災、複数の現場がストップしている(新津)。

設備工事…銅財が入ってこない。仮設住宅の工事の応援の要請がきて行くが、単価が安い(新津)。

電気工事…配線コードが入荷困難(ビニール被膜材がない)(金沢白山)。電線、パイプ関係が品薄。茨城の工場が生産停止。資金繰りが必要(大阪)。電線、電材が全然手に入らない。太物のケーブルは復興で直ちに必要だから、品不足は仕方ないとしても、家庭用の電線までなくなるのはおかしい(京都電気工事工業協同組合)。

水道工事…エンピ管(配水管など)が入手困難に(金沢白山)。

建築資材販売…便器をはじめ、品物が入荷しない。問屋も休業状態(新津)。いわき・東北にクリナップ、ヤマハ、トステム、松下の工場があり、そのメーカーの品物は来ない。他に注文が殺到し、いつ品物が来るかわからない(新津)。トイレ・洗面台、レンジフード、ユニットバス

などメーカーにより入手困難。エコキュート・畜熱暖房は入手可能。エアコンは、各社バラバラ（金沢白山）。

建築…昨年からの断熱材のグラスウールが品薄（メーカー生産調整のため）。震災で大手3メーカーの1社が生産ストップ、品物が全く入らなくなった。他の断熱材もほとんどは入らない。これから新築の話もあるが、進められない（新津）。大手ハウスメーカーは滋賀県の棟上をすべて中止している（京建労）。

左官…普通のブロックは入荷しているが、化粧ブロックは、東北の工場で作っているため、全く入ってこない。（新津）

畳屋…大阪の畳組合にさっそく仮設住宅の畳の注文が入ったらしい。今後、畳表のい草などが品薄になる可能性があるからと問屋に言われた（亀岡）。

塗装…コンパネを注文しても1週間待ちと言われた。塗料やラッカー、シンナーなどの材料の入荷が心配（亀岡）。

左官…サイディング（家の外壁材）、断熱材がない。建築業は材料がなくて本当に仕事ができない。

製造業…材料の入手困難、仕事ストップ。仕事の分業体制に支障。計画停電による影響など。

包装資材加工：在庫でまかなえている。原油高騰による値上げ要請の中で震災。値上げは不明。東北地方のエチレンプラントが停止し、西日本のポリエチレンフィルムが減産。茨城、栃木のDPフィルム工場が生産停止。資金繰りが必要（大阪）。

ニット製造…福島の編みたて屋が、仕事をできない状況になっている。他の編みたて屋を探している（新津）。

機械加工…親会社の就業が不規則になり、停電の影響で半日操業となっており、仕事がない状況（秦野）。

製造・下請…親会社の操業が止まり、仕事がほとんどない（秦野）。

部品加工…受注がストップして仕事がない（秦野）。

食料品製造・加工…干物製造は仙台から魚仕入ができなくてあがったり（福岡）。

卸・小売・サービス業…材料・仕入が困難。取引慣行により代金回収不能の被害など。

牛乳販売…メグミルクは牛乳が全く入ってこない。14日から販売中止、休業状態。メーカーからは情報が全く入らない。塚田牛乳（新潟産）は紙パックがなくなり、パック牛乳が入荷しない。宅配用の箱をメーカーが回収（亀岡）。顧客から宅配を断られるケースが出始めた。10品目以上取り扱っていたが、現在は3品しか製造していないので入荷されない（秦野）。

八百屋…計画停電の予定で学校給食が中止になり、納品予定の品物がムダになった（新津）。

鮮魚…魚の卸で品薄の報告（大阪）。地震翌日から三陸沖でとれる魚の入荷が、ぴたっと止まった。地方でも品薄になり、資本力の大小が流通に影響をおとすのではないかと（香川）。

酒小売…アサヒビールの工場の1つがダメになり、アサヒビールが入荷しない（新津）。

花や…花の産地は九州～沖縄、3月初旬には菊の仕入が1本160円。22日には暴落して1本20円。彼岸前に暴落。農家・市場から小売も打撃をうける（和歌山）。生産農家で菊は1本40円が1円になった（沖縄）。

自動車販売…販売予約している新車の納車がいつになるかわからない。毎年3月は新車販売が多

い月で、特に今年はエコカー減税の締め切り月で多くの新車販売を見込んでいたが、あきらめた（新津）。

中古バイク販売…コンパネは本当に入っていない。京都南部や岐阜県の同業者からもコンパネがないかと問い合わせの電話が入る。中古バイクをコンテナに詰めて海外に送るのに、コンパネがないとコンテナに詰められない（亀岡）。

廃材運搬…ネッツトヨタなど会社が休業の為に、廃材が出ず売上減少（金沢白山）。

運送（西濃関係）…東北地方へ荷物を、依頼者に返す（代金も）よう親会社から指示あり、経費は持ち出し。東京方面についても時間指定商品の荷受・集荷を中止。年度末と重なり資金繰りが必要（大阪）。

呉服関係…呉服の売り先は東北地方が全体の3分の1を占める。2、3月がかきいれどきだが、掛売（何百万円）も町が消えて回収不能。京呉服の独特の商品を預けて売れた分だけ入金する商法で億単位の商品が所在不明に。売り出しも自粛ムード。盛岡、東京の展示会を陸送の関係から中止する大手販売店も。2月は毎日100本以上の商品の預りも、震災後1日20本に激減。再度のリスケジュールを検討せざるをえない。得意先の倒産が怖い（京商連）。

料理・飲食店・スナック・宿泊…材料の入手困難。まちぐるみ活気がなくなり、予約キャンセルも相次ぐ。売上激減。

飲食店…酒・食材の配達遅れや産地によっては入手不可。今後どうなるかわからない（金沢白山）。計画停電で電車が不定期運行。人通りも少なくなって客足も遠のく（秦野）

スナック…つまみの一部は、大手食材店より今後入手出来ないと通達あり（金沢白山）。

ラーメン屋…もやしがいってこない（新津）。

割烹…歓送迎会の予約が全部キャンセル。翌日予定していた会議所と区の100人以上の宴会も中止。用意していた材料もムダになった。法事の予約にキャンセルはないが人数が半分以下に（新津）。

咲花温泉…5月の連休の予約までキャンセルが相次ぐ。ひとつの旅館で数百件のキャンセル。今は福島県から避難した人が宿泊、県の組合が大きいところから割り振っている（新津）。

***まちぐるみ活気失う**…震災の影響で繁華街に人が歩いていない。いつも平均10人のお客が来る店も1人しかこず売上激減（金沢白山）。祇園の飲食店は自粛ムード。小宴会はあっても、大きいものはどんどん中止。親鸞聖人750遠忌に300万人以上の来京者予定で準備してきたが、知恩院は今秋に延期、本願寺は規模を大幅に縮小。タクシー・旅館・ホテル・宴会のキャンセルが相次いでいる（東山）。自粛ムードで久御山町の焼肉店で50人の宴会が中止に（城陽久御山）。

***原発被害・避難の拡大**…農民連の産直センターも、栃木県からミニトマト、ニラが出荷されてきたが、産直ボックスに入れるのを見合わせた（亀岡）。計画停電による売上激減（東京・神奈川）